



銚 都 建 第 6 3 9 号
平成 2 0 年 1 0 月 1 6 日

国土交通省道路局長 殿

銚 田 市 長 鬼 沢 保 平



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 2 0 年 9 月 1 9 日 付け 国道企第 3 7 号 にて依頼のありました標記の件
について、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

茨城県 鉾田市

- ・多くの市町村は膨大な延長の市町村道を抱えているため、整備を一律に進めることは財政的に困難であり、また効率的に推進することも難しい。→補助事業のメニューの拡大、補助金額の増を要望。

- ・前述のように膨大な延長の道路を抱えているため、老朽化等による維持管理費が年々増大している。→拡幅改良に係る補助事業だけではなく、維持管理に係る補助事業を創設して欲しい。

- ・市町村道の整備を効率的、効果的に推進するために、県道の計画を含めた一元的、総合的な道路網計画の策定を推進する。また、そのような道路整備について補助金を交付する。

今後の道路行政についての意見・提案
②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②
茨城県 鉾田市

○現状	○課題
・本市の幹線道路として、南北に延びる国道51号と主要地方道茨城鹿島線、市中心部を起点とする一般県道下太田鉾田線と一般県道鉾田茨城線、市の中央部を通る主要地方道水戸鉾田佐原線、涸沼沿いの主要地方道大洗友部線、市の南部を横断する国道354号などが市内道路網の骨格をなしている。 ・茨城空港の開港に併せて整備が進められている東関東自動車道水戸線の(仮)茨城J.C.T～(仮)茨城南I.C間については、平成18年度に工事着手し、平成20年度には茨城県において全線の都市計画決定が予定されている。	・本市の均衡ある発展のためには幹線道路、生活道路網の整備が重要であり、県道及び都市計画決定道路の未整備箇所の早期事業化を含めて、計画的な道路整備が必要となる。 ・市内の道路には未改良区間も多く、特に交通量の多い狭い路線については早急な整備が必要となっている。また地域によっては大雨時に浸水する箇所があるため、道路整備にあわせた雨水排水整備が課題となる。

今後の道路行政についての意見・提案
②-2 地域の目指すべき将来像

様式 ③
茨城県 鉾田市

- ・機能的な交通体系を構築するためのバイパス整備をはじめ計画的な道路整備を推進する。また、「東関東自動車道水戸線」の早期全線開通をはじめ、市内国道の整備促進を推進する。
- ・合併市町村幹線道路緊急整備支援事業の推進→新市の一体性を進める上で、道路の整備を図る。
- ・主要幹線道路整備事業の推進→道路拡幅などにより、地域間交流の促進及び道路交通の安全確保のため整備を図る。
- ・地域間連絡道路整備事業の推進→市町村合併による地域間幹線道路網の強化を行い、地域間交流促進のため、整備を図る。
- ・涸沼、鹿島灘海岸地区道路整備事業の推進→海岸地区の玉田、荒地、沢尻、上釜地区及び涸沼駅近郊の下太田、箕輪地区を結ぶ地域間道路整備を行い、生活交流の推進及び緊急避難道路の整備を図る。
- ・交通の円滑化と市民生活の利便性の向上のため、拡幅改良及び排水等の整備を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

茨城県 鉾田市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他